

## “永遠に変わらないふるさと”づくり



左 壹岐 英太郎 さん 右 壹岐 文彦 さん  
Eitaro Iki Fumihiko Iki

### 集落の衰退に 歯止めをかける

河原町の南西部に位置する、人口1555人、39世帯の中井一集落。昭和30年に旧河原町に合併されるまでは、西郷村の役場もあり、人のたくさん行き交うにぎやかな集落でした。しかし、近年は過疎化、高齢化が進み、集落に活気がなくなりつつありました。この状況に危機感を感じた集落の有志が「このままではいけない」と立ち上がり、平成15年にワークショップを開催しました。ワークショップ

では、子どもから高齢者まで、集落の人口の半数の約80人が参加して、集落の課題や問題点を話し合いました。

このワークショップで出た課題を解決するため、平成16年に結成されたのが「中井一ふるさと協議会」です。

協議会は、先進地を視察するなどして、集落のめざす方向を話し合い、集落の特徴を活かした活性化策を見いだし、進めていくのが役割です。

協議会の役員は12人。いろいろな立場の意見が聞けるようにと、年齢は30代から70代まで、職業も公務員や農家な

## なかいいち 中井一ふるさと 協議会

どさまざまですが、会長の壹岐英太郎さんを中心に、日々楽しみながら活動しています。壹岐会長は、「みんなが同じ方向を向かないと、集落は活性化しない。どんなことでもみんなで話し合いをする中井一集落は、みんなが同じ方向を向いているんです」と集落の団結力を自慢します。

### 地域住民の自信が 活性化につながる

3月から4月にかけて、中井一集落の各家の玄関先には、スイセンの花がきれいに咲きます。スイセンは、3年

前に集落のみんなでアンケートで決めた『村の花』です。秋に球根を配り、各家で育てた花を玄関先に飾ってもらっています。「集落の名物にしたい。いずれは『スイセンの村中井一』と呼ばれるまで定着させたい」と壹岐会長は話します。このスイセンの栽培に一役かっているのが、増えすぎて困っているモウソウダケです。モウソウダケはスギやヒノキの成長の邪魔をやっかいもの。昨年は、このモウソウダケを使って、スイセンの球根を植えるプランターを作りました。これが好評





《5月の番組ガイド》

鳥取市行政番組

放送時間が変わりました！

《放送開始時間》

① 6:00	② 7:00	③ 8:00	④ 9:00	⑤ 10:00
⑥ 11:00	⑦ 12:00	⑧ 12:30	⑨ 13:00	⑩ 14:00
⑪ 15:00	⑫ 16:00	⑬ 17:00	⑭ 18:00	⑮ 19:00
⑯ 19:30	⑰ 20:00	⑱ 21:00	⑲ 22:00	

(放送終了後、次の番組開始までは静止画文字放送)

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週火・金・土

週2回の番組で、鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

- ▷ 2009 鳥取・因幡の祭典
  - ▷ 鳥取市教育センター
  - ▷ 市民Q & A  
～所得税、住民税制改革～
  - ▷ 今年度の主な事業と予算
- このほか、盛りだくさんの新しいコーナーがスタートしています。



静止画文字情報 『鳥取市からのお知らせ』



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばびよんびよんネット  
自主制作番組

《放送開始時間》

① 6:30	② 7:30	③ 8:30	④ 9:30	⑤ 10:30
⑥ 11:30	⑦ 12:30	⑧ 13:30	⑨ 14:30	⑩ 15:30
⑪ 16:30	⑫ 17:30	⑬ 18:30	⑭ 19:30	⑮ 20:30
⑯ 21:30	⑰ 22:30			

農業番組 『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

田植えや特産の二十世紀梨の摘果・小袋掛けなど、各地の農作業の様子をお送りします。

『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

小学校の新一年生と地域住民との交流行事や、児童生徒の農業体験などをお伝えします。

放送曜日が変わりました！

手話番組 『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

《放送開始時間》 7:00、10:00、13:00、18:00、21:00

ニュースや話題、各種行事、お知らせを手話で紹介합니다。

情報をお寄せください！

いなばびよんびよんネット ☎ (0857) 22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

番組はホームページでも紹介しています。

<http://www.inabapyonpyon.net>



「中井の清水」  
地元の人が野菜を洗うなど、生活用水として使われています。

水「中井の清水」を、名水として集落内外へPRを行っています。最近では、遠くから自家用車でわざわざ汲みにくる人があるほどで、人気、知名度も徐々に上がってきています。壹岐副会長は、この水を使っ

で、鳥取市上町の観音院で行われるイベントのライトアップに使用したいと、申し出があったほどです。そして、今一番力を入れているのは、古くからある湧き

発展し続ける地域へ

「新しい事業に毎年一つずつでも取り組んでいくことが大事なんです。常に新しいことを考え、挑戦していくこと、発展し続ける地域にした

ナスの栽培をしています。「どういう効果があるかは分かりませんが、おいしいナスが出来るんです」と目を細めて話します。

このように、自分たちの行動が一つ一つ形になっていくことで、住民が自信を持つようになり、地域の活性化につながっています。

い」と壹岐副会長は言われます。

また、壹岐副会長は「高齢者が活躍することこそが、中井一集落全体の活性化につながる」と高齢者の活躍の場を確保することの重要性を話します。「高齢者も若者も一緒にあって地域の将来について考え、課題の解決に向けて行動をすることで、高齢者の持つ持っている知恵が若い世代へ、押し付けではなく自然に伝わっていくのが理想。そうしていくことで地域の伝統や文化が受け継がれていくんです」と続けます。

今年の9月には、念願だった活動の拠点施設である集会所と農産物加工施設ができる予定で、「今後ますます活動の幅が広がります」と壹岐副会長は笑顔で話します。

活動を始めたころの気持ちを忘れず、今までやってきたことを大事にしながら、これから先もみんな考え、みんなで課題を解決していくというスタイルは変わりません。そうすることで、中井一の美しい里山の風景も、永遠に変わらず残っていくことでしょう。